

大潮だより

まる 円山 やま

第23号

発行年月日
平成26年11月1日

発行者
大潮の里をまもる会



大潮の里のヒガンバナまつりを、9月28日、ファンクラブ員など総勢58名の参加の下開催しました。今年のヒガンバナは雨の多い8月の天候にもかかわらず、小潮から戸根、片山地区にかけて真っ赤な花を誇らしげに咲かせてくれました。

この花は、別名曼珠沙華（まんじゅしゃげ）とも呼ばれ、仏教の経典では天界に咲く花という意味があり、おめでたいことが起こる兆しに赤い花が天から降ってくる言い伝えられています。

また、ヒガンバナの根には毒があり、稲作に大事な畦や土手に穴をあけるモグラやミミズなどから田んぼを守ると言われています。

何気なくさく彼岸花も、田や畑を守る大切な役割を担っているようです。

まつりでは、今春植えたシバザクラやヒガンバナの植栽地を散策した後、旧大潮小学校に全員が集まって餅つきをし、あんこ餅や平餅にして、新米のご飯と共に大潮の味を堪能しました。

午後からは、今年獲れた大潮産コシヒカリのすくい取りや栗拾いなど、秋の大潮で楽しい一日を過ごしてもらいました。

大潮の里をまもる会では、これからも四季を彩る花の植栽を大潮全域に広める計画をしていますので、ご協力をおねがいします。

賑やかに 第3回ヒガンバナまつり

寄稿

「しっずー」は緑の水の大潮へ！

私たちみんな違ってみんないい仲間です。各々の思いを寄せ書きしました。

彼岸花まつり、子供の頃を思い出す本当に楽しい一日でした。
・お餅つきは久しぶりに見る光景で、ヨモギ餅が特に美味しかったです。
・お米のすくい取りは何回もでき、私の小さな手でも沢山いただきました。
・栗拾いも沢山拾って満足しました。栗ごはん、茹でくりなどしました。

鎌田さん
私が小さい頃、山や川を遊び場にしたモノクロの懐かしい記憶が、鮮やかなカラーになってよみがえりました。
ゴリのペチャンコの顔、赤いお腹が気持ち悪いイモリ、燃える赤の曼珠沙華等々、自然の様子は変わりませんね。皆さんのやさしく温かいおもてなしを受け、癒されています。
弘中さん

芝桜 みぞれの土手に 手植えし日
根付いて春待つ 秋の大潮
又逢えた 鹿野の野辺に 曼珠沙華

日高 明子さん
最初に芝桜の見学で、寒い日に皆さんと一緒に植えた株も少しだけ大きくなり、チョットだけ花も咲いていました。
来春にはもっと沢山の花が咲くのを楽しみにしています。
彼岸花も田んぼの畔で咲いていてきれいでした。これもみなさんの手で植えられたのですね。色々と思いを凝らし元氣をもらっているのに頭が下がります。また、手伝いがある時を楽しみにしています。

新田 満乃さん
思い出すのは今春みんなで芝桜を植えた時のことです。
出かけるときはお晴れていたのに、現地は予想外に寒く、みぞれの中の作業となり、鹿野の寒さを思い知らされました。
この秋、植えた現場を訪れる機会に恵まれ、思ったより良く着床しているのに安心しました。その上、かわいい花が咲いて迎えてくれたのが、むしろ嬉しかったです。来年日の丸の部分が多くなるか、今から楽しみです。ついつい「もっと植付面積を増やしましょうよ！」と声を大きくしたくなりました。
中村 和子さん

9月28日は晴天に恵まれ、ふれあい行事に気持ちよく参加させていただきました。
春に植付をした芝桜の様子を見せていただき、その後の管理や見守りに感謝すると同時に、来年の初夏には花が見られるかな？と期待もわきました。
その後の餅つき、せんべい焼き、新米のすくい取り等々の行事を体験させていただきました、楽しい一日を過ごさせていただきました。
企画準備下さった方々に対し、お礼申し上げますと共に、今後もこの様な行事を催れるときこそ案内させていただきます。今後この様な行事を催れるときこそ案内させていただきます。
大潮地区の豊かな自然と心優しい人々との交流が、未永く続くことを願っています。
楊井 晴夫さん

大潮が一番美しい季節を迎えましたがいかがお過ごしでしょうか。
今年は8月の長雨でお米をはじめ、野菜なども大変不作で、昔からよく言われる「農業で人間の力が及ぶ範囲は30%」の言葉を実感させられる年でした。
「百姓の来年」の通り、来年に賭けるしかありません。少し早いですが一年間ご協力ありがとうございました。

編集後記

互にしているスタンプリのポイントは今年は田舎の店の番です。
沢山のご出品とご来場をお待ちしています。



賀谷岩子さん
周南市芋掘

お達者さん紹介

今回は芋掘の賀谷岩子さんをお尋ねしました。
賀谷さんは昭和7年のお生まれで82歳になられました。40年のベテランドライバーです。
趣味はとお訊ねすると、即座に「野菜作りです」とのこと返事。
なるほど、畑を見ると沢山の野菜がところ狭しと元氣よく育っています。
野菜作りの秘訣をお尋ねすると「長い間の経験とあとは企業秘密」だそうです。
販売先は大潮田舎の店をは

じめ、毎週月・水・金曜日には、JA周南のしやくなげなどの各店舗に沢山出荷されているそうです。
もちろん、しやくなげ店までは自分で運転しての出荷です。
このように至ってお元氣で病氣もせずに頑張っておられますが、元氣の秘訣をお尋ねすると、「無理をせず自分にあったペースで働くことです。」とのことでした。
これからもお体をいたわって仕事に励まれ、消費者の皆さんへ新鮮な野菜を届けてください。

紅葉の季節と共に恒例の国道315・376号沿線の朝市直売所をむすぶルーラルフェスタの季節です。
今年は11月8日（土）・9日（日）の両日おこなわれます。
大潮田舎の店では、新鮮な野菜や加工品の販売に加えて、1日目の8日は新米のすくい取り、2日目の9日には野菜釣りをします。
また、JAしやくなげ店と交

ルーラルフェスタのお知らせ



野菜釣りで賑わう

今からすること 平成26年度 今までにしたこと

今年度も前半が終わりましたが、計画した事業はほぼ全部実施しました。雨にたたられたホタルまつり、好天に恵まれ盛会だった夏の体験学習、国・県道の草刈り、ヒガンバナまつりなど、ご協力ありがとうございました。



宇生賀地区のほ場

秋の取入れも終わりほっと一息の時期です。大潮の里をまもる会も発足して5年目の半ばを迎えました。地域づくり組織として様々な活動に取り組んでいますが、過疎高齢化の進展は著しく、地域の存続すら危ぶまれる状況です。地域で暮らす私たち一人ひとりが知恵を出し合いながら、将来に向けて地域を残す努力を積み重ねていくことが必要です。そうしたことから、まもる会では発足以来毎年地域づく

視察研修にご参加を

・ 目的 農地の荒廃を防ぎ、農業生産からの収益を地域に還元するとともに、女性活動や都市農村交流など、先進的な活動の取り組み状況の研修併せて、会員の親睦・交流を図ることとします。

・ 参加経費 1,000円

・ 申し込み先 各集落役員

・ 定員に達し次第締め切りです、お早目にお申込みください。

・ 日 時 11月30日(日) 8時田舎の店集合 午後4時頃帰着予定

・ 研修場所 阿武町宇生賀 うもれぎの郷ほか萩阿武方面

・ 目的 農地の荒廃を防ぎ、農業生産からの収益を地域に還元するとともに、女性活動や都市農村交流など、先進的な活動の取り組み状況の研修併せて、会員の親睦・交流を図ることとします。

・ 参加経費 1,000円

・ 申し込み先 各集落役員

・ 定員に達し次第締め切りです、お早目にお申込みください。

円山登山道の草刈り



円山山頂 昨年の作業

昨年12月、長年荒れ放題になっていた、円山へ登る道の草刈りをして登山ができるようになり、沢山の方が登頂され喜ばれています。あれから1年経ち、雑草や灌木が再生したため、12月7日(日)午前9時から草刈り作業をしながら登山をしたいと思えます。体力に自信のある方は鎌または草刈り機、御茶やおやつ等ご持参の上、8時50分までに田舎の店にご集合ください。



看板修理と花植え

「美しい自然をまもり、快適な地域にしていこう」のビジョンの下、毎年地域に花植えをしてきました。来年3月には、倉谷地区に昨年引き続きもう一度シバザクラを植える計画です。大潮の見どころ看板も26か所設置してきましたが、最初に立てたものは4年が経過し、文字のペンキが色あせ見えにくくなってきたことから、来春は古いものから文字の塗料を入れ替えることにしています。新たに看板が必要な場所があれば新設もしますので、お申し出ください。



年輪ピックのPRをするチヨルル

雨の中でのホタルまつり

今年はずいぶん週末の天候が良くない年のようです。6月21日に計画した第12回大潮ホタルまつりも、みんなの願いもむなしく、最悪の天候の下での開催となりました。ぬかるむグラウンド、びしょ濡れの舞台など、かつてない状況でしたが、そんな中でも駆けつけて下さったお客さんもおいて、長年続けてきた努力のお陰だと感じました。今回は市長さんも初めて来られて、一同大変心強くうれしい限りでした。

天候に恵まれ 盛会だった夏の体験学習

昨年は阿武・萩方面の集中豪雨の日にあたり、大潮でも錦川が増水したため夏の体験学習は中止しましたが、今年は夏らしい好天に恵まれ、地区外から53名の参加者があり、盛大に開催しました。



お楽しみのイカダ乗り

楽しい 昼ご飯

昼食は旧大潮小学校のグラウンドで定番のソーメン流し、竹の樋に流れてくる冷たいソーメンをはじめ、トマトやブドウに満腹!

ゴリ押しとイカダ乗り

昼食後、水鉄砲作りをしたのち、錦川へ移動してお待ちかねのイカダ乗りとゴリ押しに挑戦しました。日ごろ川で遊んだことのない子供さんたち、きれいな水に大はしゃぎ。むしろに跳ねるゴリに目をぱちくり。子供さんたちの歓声が大潮にこだまする1日でした。



みんなで頑張った 国道の草刈り

大潮地区には、国道315号線や県道新南陽津和野線をはじめ、市道や農道が沢山あります。とりわけ国・県道は交通量も多く、一昨年から大潮の里をまもる会が中心となり、県のきらめき道路サポート事業に乗り、草刈り作業に取り組んでいます。今年も去る7月22日を中心に多くの皆様のご協力により、草刈り作業が無事完了しました。作業で得た資金は各集落で有効に使われることでしょ